

■ 小学生の私たちがなぜ国際協力をするのか？ ■

関西大学初等部児童による国際協力活動

～ 4年間の活動を自ら企画・編集した本を出版、収益金を寄付 ～

関西大学初等部では、2012年から4年間にわたってインド・ニランジャナスクールに対する国際協力活動を行っています。このたび、その足跡を児童たちが自らの手で「ナマステ！会いたい友だちとー友情は国境を越える」という一冊の本にまとめました。

本校では、校訓のひとつに「国際理解力」を掲げており、1年生から始める英語活動や、英語とICTを活用した国内外の学校との交流学习・異文化間コミュニケーション体験などを通じて、相手の文化・考え方を受けとめ国際協調と世界平和のために貢献する力を育成しています。

また、本校独自の思考力育成法『ミューズ学習』では、「分類する」「比較する」「多面的に見る」などの論理的思考方法の習得・活用を目指した教育を展開しています。

インド・ニランジャナスクールに対する国際協力活動は、2012年に当時の5年生（現中学2年生）から始まりました。同スクールの学習環境改善をめざして、これまで発電機やスクールユニフォームといった物的支援をはじめ、フリーマーケットや教材づくりにも取り組んできました。また、同スクールの設立者や運営代表者の話に耳を傾け、現地の子どもたちとのテレビ会議、実際に途上国支援に携わっている大学生や高校生とのディスカッション、さらには途上国と同様の食事や学習体験を実施するなど、途上国の現状の理解に努めてきました。

2014年に国際協力活動を引き継いだ現在の初等部6年生は、活動の中で自分たちが何を思い、何を考え、この活動にどのような価値を見出したのかを伝えることで、多くの人に途上国に対する関心を持ってもらいたいと考え、これまでの活動を本にまとめました。本の制作にあたっては、初等部で学んだ思考力育成法『ミューズ学習』の成果を生かしながら、原稿執筆、タイトル・表紙デザイン、広報・販売宣伝活動にいたるまで全て6年生の児童たちが取り組みました。この取り組みは、現在話題のアクティブ・ラーニングに他なりません。

この本は、2月6日（土）に初等部で行われる「第6回研究発表会」の会場にて先行販売され、2月10日（水）から全国の書店で販売されます。2,000部の完売を目指しており、その収益金の一部は、ニランジャナスクールの学習環境改善のために寄付されます。

つきましては、出版に携わった児童や担当教師にも取材可能ですので、ご多忙のところ恐縮ですが、取材・周知についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上



本の表紙



インドとのテレビ会議の様子

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



【キャッチコピー】

小学生の私たちがなぜ国際協力をするのか
ー関大初等部式思考力育成法 一つのそして大きな成果

【もくじ】

はじめにーニランジャンスクールとの交流の誕生

◆私たちの活動ーブックプロジェクトの記録

- 1 章 私たちの友だちはインドに住んでいる
〈ニランジャンスクールってどんな学校？〉
- 2 章 先輩たちの活動〈総合学習の枠を超えて〉
- 3 章 私たちの疑問ーなぜ途上国？
〈国際協力活動をする意味がわからない〉
- 4 章 メッセージカードが届いた！
〈ニランジャンナの友だちから届いた手紙〉
- 5 章 友だちに返事を送ろう〈自分たちの日常を手紙に書いた〉
- 6 章 思いは伝わったのだろうか〈ブックプロジェクトの誕生〉
- 7 章 友だちから学んだこと〈ニランジャンナの友だちの姿を見て〉
- 8 章 これからの私たち〈思いを伝えたい、継続する大切さを伝えたい〉

◆メッセージー協力してくださった方々から

あとがきー私にとって「国際協力」とは、どのようなものか？



【出版のきっかけー国際協力活動への疑問】

インド・ニランジャンスクールに対する国際協力活動のはじまりは、2012 年に初等部担当教師に届いた、同スクールの子ども 2 名の来日に伴う交流事業の提案がきっかけでした。当時 5 年生（現中学 2 年生）の児童たちは、彼らのためにガイドブックを作成し、担当教師からインドの子どもたちに手渡されましたが、ビザがおりず来日できないという衝撃的な事実を聞きました。

その事実を聞いた初等部の児童たちは、「なぜ？」「どうして？」という疑問を抱きました。そこから、ニランジャンスクールの子どもたちの生活実態、インドの現状などを調べ始め、過酷な環境の中で生活している事実を知ることになります。そして、何か自分たちにできることはないかと考え、学習環境改善の活動が始まりました。

その後、現在の 6 年生に引き継がれましたが、「なぜ、途上国なの？」「支援？ 応援？ 協力？」と、担任の先生に促されて始めた児童たちは、活動への疑問を抱いたり、先輩たちの活動と比べてみたり、応援されても素直に喜べなかったり……。複雑な思いを抱きながらも一つひとつの疑問に正面から取り組むことで多くを学び、やがて「私たちの活動」として国際協力を捉えるまでになっていきます。そして今、その思いをより多くの人々に伝え、国際交流、協力の輪を広げていきたいと、活動の軌跡を自らの手でまとめました。



インドとのテレビ会議の様子



ニランジャンスクールの子どもたち

【出版までの活動】

著者となる6年生の児童たちは、本の原稿執筆に加え、タイトル・表紙デザインも自分たちで考えました。さらに、広報・販売宣伝等の活動も、すべて自分たちで企画して活動しました。

そこには、初等部で学んだ思考力育成法『ミューズ学習』の成果が随所に現れています。

本書の収益金の一部は、ニランジャンナスクールの学習環境改善のために寄付されます。目標は「卒業までに100万円！」

<制作・宣伝活動の様子>



【書籍情報】

ナマステ！ 会いたい友だちとー友情は国境を越える

【著者】 関西大学初等部 6年生

【価格】 定価＝本体 1,500 円＋税

【判型】 A5 判変形（天地 210mm×左右 182mm）

【ページ数】 128 頁

【ISBN】 ISBN978-4-904785-95-9

【発売日】 2016 年 2 月 10 日（水）（全国の書店でお買い求めいただけます）

※2月6日（土）、第6回初等部研究発表会会場にて下記のとおり先行販売いたします。

時間：12：15～13：00

場所：高槻ミューズキャンパス 北館4階アリーナ前ホールおよび1階レストラン内
研究発表会の詳細はこちら（<http://www.kansai-u.ac.jp/elementary/2016/01/post-382.html>）
出版に関するお問合せはさくら社（<http://sakura-sha.jp>）

※取材をご希望の方は、お手数ですが別紙お問い合わせ先まで事前にお知らせ願います。